

富士宮市 ゼロカーボン推進戦略 2022-2030 〰▶2050

中間見直し版 概要版



1 戦略の中間見直しと位置付け

1-1 戦略の中間見直しについて

(1) 目的

本市では、2021(令和3)年1月に市長が「ゼロカーボンシティ」を宣言し、脱炭素社会の実現に向けた取組を加速していくため、2022(令和4)年1月に「富士宮市ゼロカーボン推進戦略」(以下「本戦略」という)を策定しました。

本戦略では、地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入推進、パートナーシップによる「地域循環共生圏」の形成、省エネルギーの推進、環境に配慮したライフスタイルへの転換の4つの基本方針に基づいて、市民・事業者・行政が一体となって「オール富士宮」で推進します。

本戦略で削減を進める温室効果ガス

温室効果ガスには、二酸化炭素(CO₂)、メタン(CH₄)、一酸化二窒素(N₂O)、フロン類などがありますが、人の活動により増加する温室効果ガスの大部分は、二酸化炭素が占めています。

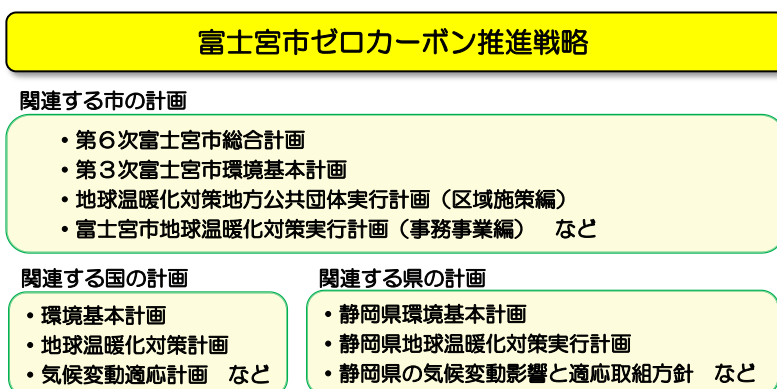
本市においても、温室効果ガスのうち二酸化炭素が大部分の排出を占めています。そのため、本戦略においては、二酸化炭素の削減の取組を進めます。

(2) 考え方

中間見直しであることから、本戦略の骨格である、「将来像」、「基本方針」は原則変更せず、本戦略の進捗状況、関係法令、国や県の動向及び社会・経済・技術の状況等を踏まえ、取組施策、数値目標など部分的な見直しとし、第6次富士宮市総合計画、第3次富士宮市環境基本計画等と整合を図るものとします。

1-2 位置付け

本戦略は、関連する国、県の計画、市の計画と整合を図り、2050(令和32)年のゼロカーボンシティの実現に向けた、基本的な方向性と実現に向けた方針と取組等を示すものです。(図1)



1-3 計画の期間

図1 富士宮市ゼロカーボン推進戦略の位置付け

本戦略の期間は、2022(令和4)年度から2030(令和12)年度までの9年間とします。なお、これを長期目標に向けた第1期計画期間として、上位計画に合わせ、2025(令和7)年度に見直しを行いました。

その後、第2期計画期間、第3期計画期間として、段階的に取組を進めていきます。(図2)

また、環境や社会情勢等の変化に適切に対応するため、必要に応じて見直しを行うこととします。

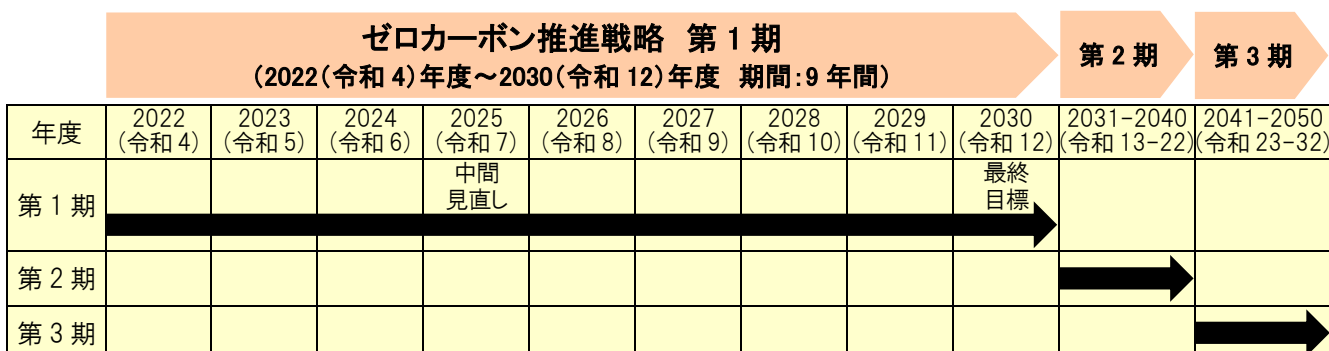


図2 富士宮市ゼロカーボン推進戦略の期間

2 市内の温室効果ガス排出量と二酸化炭素排出・吸収量

2-1 市内の温室効果ガス排出量

本市から排出される温室効果ガス排出量については、2021(令和 3)年度は 1,194.7 千t-CO₂となっており、近年、減少傾向にあります。(図 3)

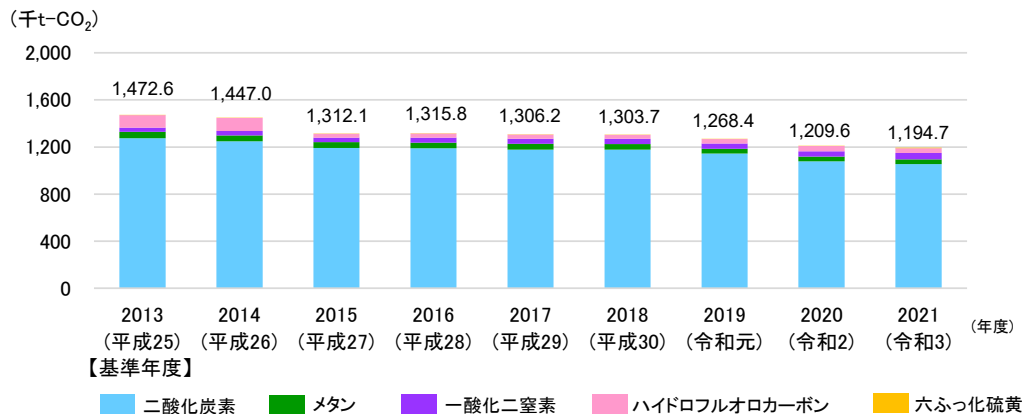


図3 温室効果ガス排出量の推移

出典:「富士宮市温室効果ガス排出量算定業務 報告書 2025(令和7)年 2月」を元に作成

2-2 市内の二酸化炭素排出量

本市から排出される二酸化炭素排出量は、温室効果ガス排出量の 88.2%(2021(令和 3)年度)を占めて、2021(令和 3)年度の排出量は 1,054.2 千t-CO₂となっており、近年、減少傾向にあります。(図 4)

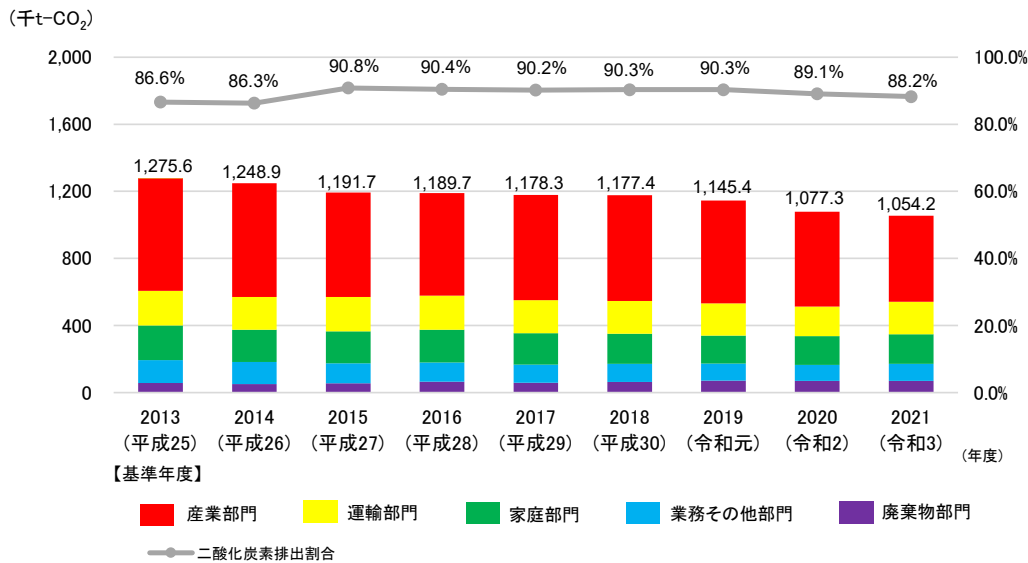


図4 二酸化炭素排出量の推移

出典:「富士宮市温室効果ガス排出量算定業務 報告書 2025(令和7)年 2月」を元に作成

2-3 市域の森林の二酸化炭素吸収量

市域における森林の二酸化炭素の吸収量は、民有林においては 81.8 千t-CO₂、国有林においては 31.6 千t-CO₂、森林全体で 113.4 千t-CO₂と推計されます。(図 5)

二酸化炭素の吸収源である森林の整備を推進するとともに、森林で生産される木材の利用促進を持続的に取り組むことが重要です。

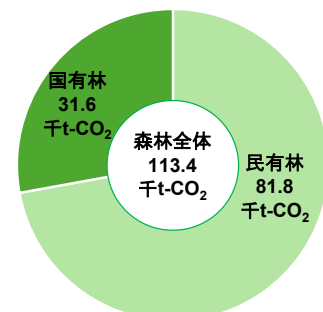


図5 市域の森林の二酸化炭素吸収量 (2024(令和6)年度)

出典:「富士宮市市域内森林二酸化炭素吸収量調査業務 報告書 2025(令和7)年 3月」を元に作成

3 再生可能エネルギーの導入ポテンシャル

再生可能エネルギーの導入ポテンシャルとは、全資源エネルギー量のうち、現在の技術水準で利用可能なエネルギー資源量から、法令や土地利用などの制約により利用できないものを除いたエネルギー資源量です。

本節では、環境省「再生可能エネルギー情報提供システム(REPOS)」に基づき、市域の再生可能エネルギーの最新の導入ポテンシャル推計値と、市資料に基づき算定した導入ポテンシャル、並びに再生可能エネルギーの市域への導入実績について整理しています。(表1)

表1 富士宮市における再生可能エネルギー導入ポテンシャル等

区分	導入実績 2024年度 (令和6年度)	導入ポテンシャル		
		再生可能エネルギー 情報提供システム (REPOS)参考	その他	計
太陽光発電	89,680千kWh	1,136,313千kWh ^{※1}	—	1,136,313千kWh
水力発電	157,309千kWh	232,183千kWh ^{※2}	—	232,183千kWh
風力発電	—	4,353千kWh	—	4,353千kWh
地熱発電	—	1,148千kWh	—	1,148千kWh
太陽熱利用	—	(利用可能熱量) 17.1億MJ	—	(利用可能熱量) 17.1億MJ
地中熱利用	(システム規模) 234.8kW	(利用可能熱量) 55.1億MJ	—	(利用可能熱量) 55.1億MJ
バイオマス発電	761千kWh	—	15,539千kWh	15,539千kWh
合計	247,750千kWh (システム規模) 234.8kW	1,373,997千kWh (利用可能熱量) 72.2億MJ	15,539千kWh	1,389,536千kWh (利用可能熱量) 72.2億MJ

※1 土地系の推計値から「富士山景観等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例」第7条に規定する抑制区域を除いた推計値と建物系の推計値の合算値を示す。

※2 再生可能エネルギー情報提供システム(REPOS)に基づく導入ポテンシャルの推計値に、市の導入実績を含めた値を示す。

本戦略において、導入拡大を図る再生可能エネルギーは、導入ポテンシャルや地域資源の活用が見込まれる太陽光発電、水力発電、及びバイオマス発電とします。

風力発電については、富士山の景観を保全する観点から、本戦略の策定時に引き続き、今後において導入は想定していません。

また、地熱発電、太陽熱利用、地中熱利用については、今後、本市の特性を鑑みながら、必要に応じて、調査研究を行っていきます。

4 将来像と削減目標

4-1 将来像

本市は、多様な主体とのパートナーシップにより、新たに策定したマンダラに示す「地域循環共生圏」の構築を通じ、ゼロカーボンシティの実現を目指します。(図6)

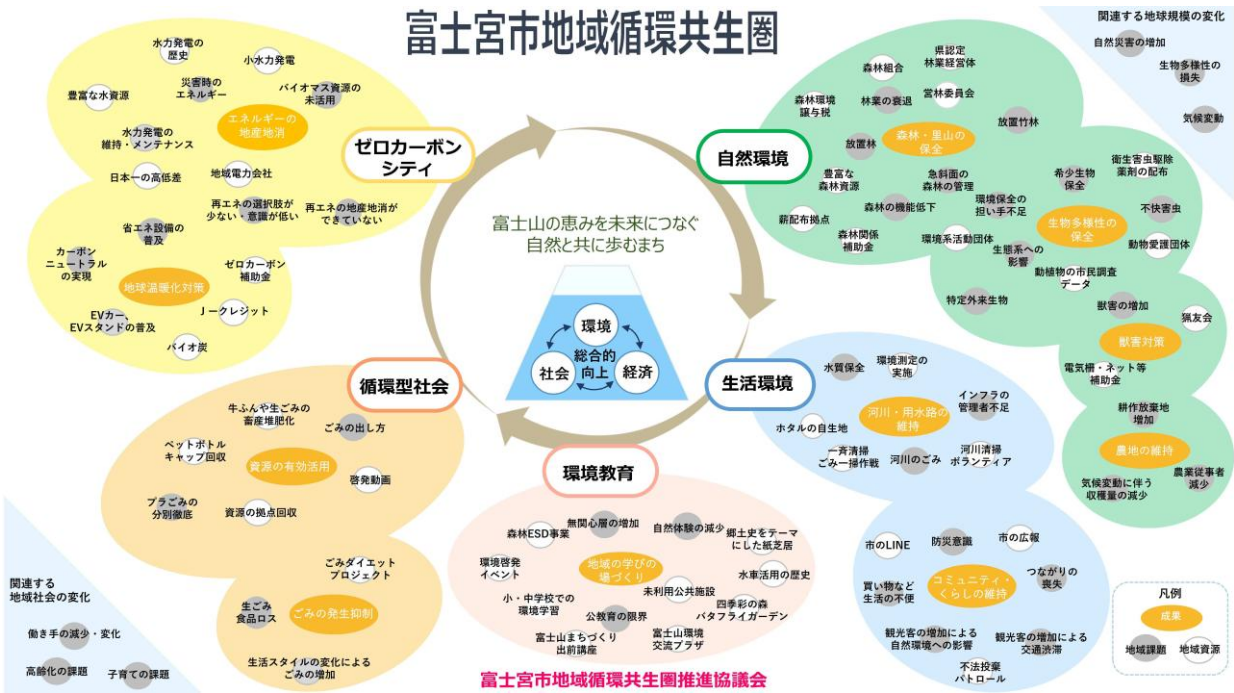


図6 富士宮市地域循環共生圏マンダラ

4-2 削減目標

(1) 温室効果ガス排出量の削減目標

本戦略の基準年度は、国の地球温暖化対策計画と同様に 2013(平成 25)年度とします。

本市の温室効果ガスの削減目標は、国の削減目標に合わせて、2030(令和 12)年度、2035(令和 17)年度、2040(令和 22)年度、2050(令和 32)年度に設定しました。(図7)

なお、各目標は温室効果ガス排出量の推移や目標の達成状況を踏まえて見直すものとします。

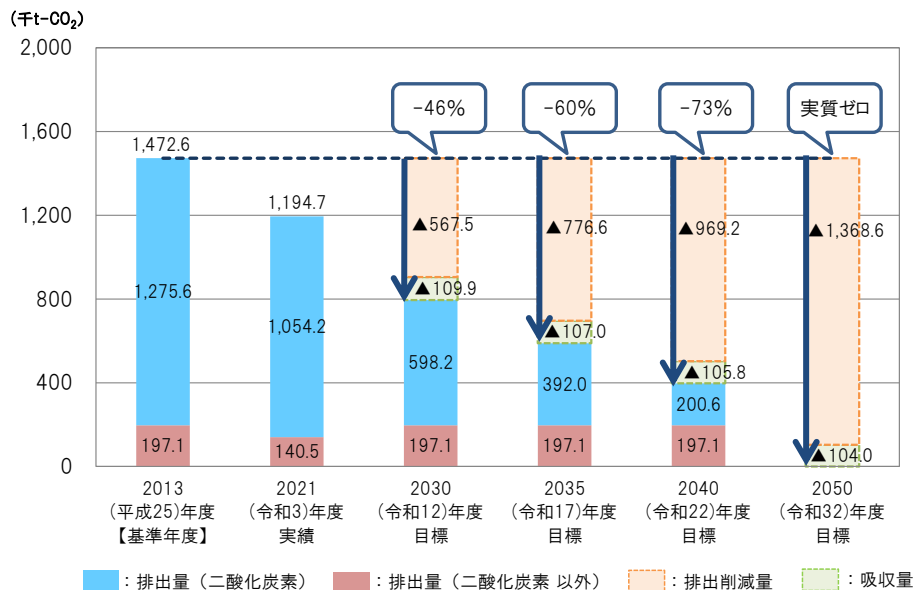


図7 温室効果ガス排出量の削減目標

(2) 目標達成に向けた二酸化炭素削減量

本市の二酸化炭素排出量は、温室効果ガス排出量全体の90%程度を占めています。このため、本戦略では、排出割合が大きく、削減効果が高い二酸化炭素について、最優先の対象とし、省エネルギー・再生可能エネルギー導入等を通じて積極的に削減を図ります。あわせて森林整備を推進し、二酸化炭素の吸収を促すことで、実質的な排出量の削減を図ります。

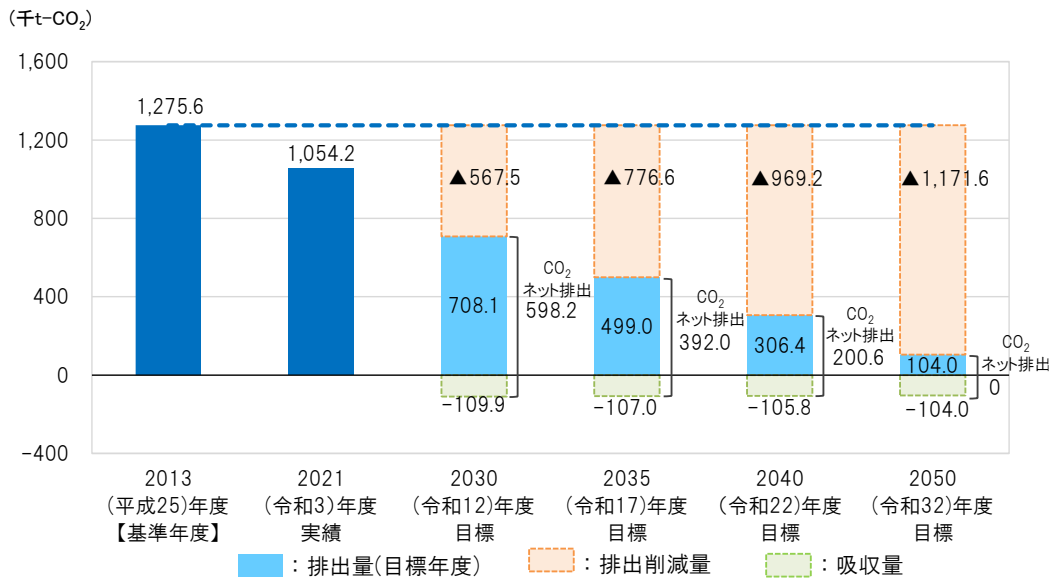


図8 二酸化炭素排出量と削減量

5 実現に向けた取組

5-1 基本方針

本市は、ゼロカーボンシティの実現に向けて、まず、地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入を積極的に推進し、市域のエネルギーの脱炭素化を図るとともに、省エネ設備の導入や建築物の省エネ化等の徹底した省エネルギーを推進し、市域のエネルギー消費量の削減を目指します。

同時に、それらの取組を、多様な主体のパートナーシップによる「地域循環共生圏」の形成を通して前進させるとともに、市民、事業者に対して、環境に配慮したライフスタイルへの転換を積極的に周知・啓発し、市域が一体となった「オール富士宮」で、ゼロカーボンシティの実現に取り組みます。

また、環境教育により市民、行政、事業者を含むすべての主体の環境保全意識の高揚を図り、協働による自主的・積極的な環境保全活動への取組を後押しします。

方針1 地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入推進

方針2 パートナーシップによる「地域循環共生圏」の形成

方針3 省エネルギーの推進




方針4 環境に配慮したライフスタイルへの転換

[基本的取組事項] 環境教育の推進

5-2 施策と施策展開による二酸化炭素の削減効果

基本方針に基づく各施策とその展開による二酸化炭素の削減見込み量は次のとおりです。




■ 戦略における二酸化炭素削減見込み量

方針	主な施策	二酸化炭素削減見込み量(千 t-CO ₂)			
		2030 (令和12) 年度	2035 (令和17) 年度	2040 (令和22) 年度	2050 (令和32) 年度
[方針1] 地域資源を活用した 再生可能エネルギー の導入推進 	①太陽光発電の導入推進	227.9	367.8	497.1	603.8
	②小水力発電の導入推進	92.4	101.3	110.2	127.9
	③バイオマス発電の導入推進	2.0	3.6	5.3	8.6
	④ゼロカーボン推進設備等導入推進	13.1	15.4	17.7	22.3
	計	335.4	488.1	630.2	762.6
[方針3] 省エネルギーの推進 	⑨公共施設の ZEB 化と省エネ性能向上の推進	5.8	7.5	9.1	12.5
	⑩高性能住宅・建築物(ZEH・ZEB 化)の普及促進	95.1	110.3	122.5	137.9
	⑪AI・IoT 等を活用したエネルギー・マネジメントの導入	0.2	0.3	0.3	0.4
	計	101.0	118.1	131.9	150.8
[方針4] 環境に配慮したライフ スタイルへの転換 	⑬ゼロカーボン・ドライブの普及促進	114.5	149.3	181.7	224.0
	⑰ごみダイエツトプロジェクトの推進	2.9	3.7	4.5	6.1
	⑱食品ロスの削減	2.2	2.4	2.5	2.7
	⑲プラスチック資源循環の推進	10.7	13.9	17.0	23.2
	計	130.3	169.3	205.7	256.1
[基本的取組事項]	環境教育の推進	0.02	0.03	0.03	0.04
吸収量・オフセット	市域における森林による二酸化炭素吸収量	109.9	107.0	105.8	104.0
	カーボンオフセットガス	0.8	1.1	1.4	2.1

■ 二酸化炭素削減見込み量及び実質排出量 (千 t-CO₂)

項目	2030 (令和12) 年度	2035 (令和17) 年度	2040 (令和22) 年度	2050 (令和32) 年度
二酸化炭素削減見込み量(吸収量・オフセットを含む) 合計	677.4	883.6	1,075.0	1,275.6
各年度の目標達成に向けて必要な二酸化炭素削減量	677.4	883.6	1,075.0	1,275.6
二酸化炭素 実質排出量	598.2	392.0	200.6	0

■ 戦略におけるその他の施策展開

方針	主な施策
[方針2] パートナーシップによる 「地域循環共生圏」の形成 	⑤再エネ電力の地産地消の仕組みづくり ⑥市域外との広域連携による再生可能エネルギーの利活用 ⑦富士宮市地域循環共生圏推進協議会を活用した事業者支援 ⑧多様な主体との協働による森林整備の推進と里山資源の活用
[方針3] 省エネルギーの推進 	⑫木造建築物、高性能建材・設備の普及促進
[方針4] 環境に配慮した ライフスタイルへの転換 	⑭地域公共交通の利用促進 ⑮歩行者と自転車にやさしいまちづくりの推進 ⑯テレワーク・ワーケーションの推進 ⑳持続可能な消費の拡大

5-3 重点的に取り組む施策

ゼロカーボンシティの実現に向けた取組は、4つの方針に基づく20の施策のうち、本戦略の第1期「2030(令和12)年度まで」の残期間において、特に、重点的に取り組み、温室効果ガス削減目標を達成するための施策を次のとおりに位置付けます。あわせて、基本的取組事項として環境教育の推進についても、重点的に取り組む施策に位置付けます。

方針1 地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入推進

◇ 重点的に取り組む施策：施策①②③ 太陽光発電、小水力発電、バイオマス発電の導入推進

方針2 パートナーシップによる「地域循環共生圏」の形成

◇ 重点的に取り組む施策：施策⑧ 多様な主体との協働による森林整備の推進と里山資源の活用

方針3 省エネルギーの推進

◇ 重点的に取り組む施策：施策⑨ 公共施設のZEB化と省エネ性能向上の推進

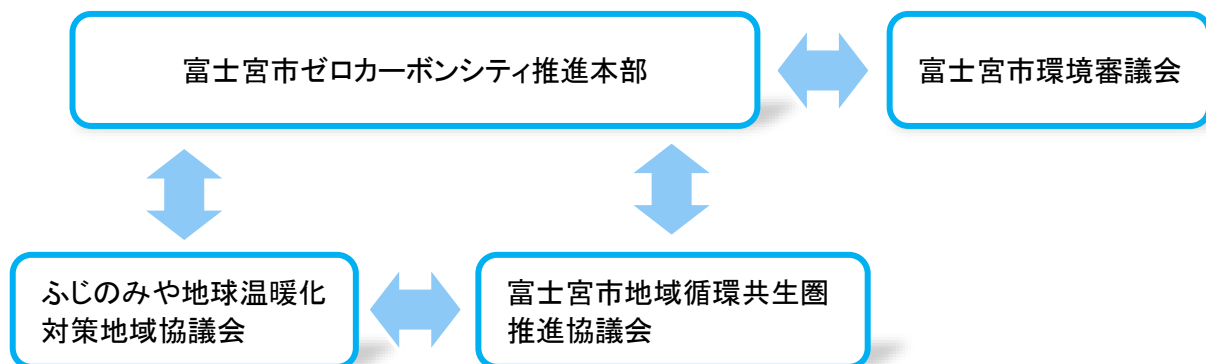
方針4 環境に配慮したライフスタイルへの転換

◇ 重点的に取り組む施策：施策⑱ プラスチック資源循環の推進

[基本的取組事項] 環境教育の推進

6 推進体制

市では、脱炭素社会の実現に向け、富士宮市環境審議会に意見を伺いながら、富士宮市ゼロカーボンシティ推進本部を中心に総合的な施策の企画・立案を行い、市民・事業者と一体となって取組を推進します。



発行

富士宮市 環境部 環境企画課 環境エネルギー室

〒418-8601 静岡県富士宮市弓沢町150番地

電話 0544-22-1111(代表)

URL <https://www.city.fujinomiya.lg.jp/>